

# 中国サンゴ密漁船を24時間監視 海上保安庁が、活動を確認！

平成26年に中国漁船によるサンゴの密漁が多発し、海上保安庁の取り締まり強化で沈静化した東京・小笠原諸島近海で再び中国漁船の活動が確認され、海保が現場に最大級の巡視船などを急派して24時間態勢の警戒・取り締まりに当たっている。

海保は、違法操業や立ち入り検査忌避で逮捕した乗組員に高額の担保金を科す「ボンド（早期釈放）制度」も活用。停船命令を無視した中国漁船の船長を逮捕し、強い対応で封じ込めに臨む。

海保関係者によると、小笠原海上保安署（東京都小笠原村）には26年当時から巡視船を配備しておらず、1月下旬にヘリコプター搭載型巡視船（PLH）と大型巡視船（PL）の2隻を派遣。最大級の巡視船も投入し、警戒継続のため各地の巡視船運用を調整している。

航空機による哨戒強化で、公海上で10隻程度の中国漁船の存在が判明した。

巡視船には捜査経験が豊富な海上保安官が乗り組み、随時、立ち入り検査を実施できる態勢も整えた。平成26年の間



沖縄県沖の海上で停船命令を無視し逃走する中国漁船の摘発にあたる海上保安庁の巡視船  
＝2月7日午前(海上保安庁提供)

題を受け、国は違法操業の罰金上限と担保金基準額を3千万円に引き上げた。海保は抑止効果に期待し、積極的に摘発を進める。

## ※**『中国密漁海賊船』が出没したわけだ。**

『中国密漁海賊船』は前回の密漁軍団での荒稼ぎに味を占めたのかな。

小笠原の海底には逃げ出す際に『中国密漁海賊船』が切り捨てた石油樹脂製の網が放置され、痛々しい感じだったが、その後はどうなったのか？

『中国密漁海賊船』は衛星から監視ができないのか？



小笠原諸島嫁島の沖合約5キロ付近で目撃された不審船。赤い旗を掲げ、背後にも複数の船が見える



逃走する中国漁船を追跡する巡視船(右)

航空機で証拠写真を撮って巡視船で臨検、怪しいければ拿捕、再発防止のための『中国密漁海賊船』の没収。逃げたら撃沈。

日本も『海賊乗組員』を返さず、留置所に入れとけば中国側の乗組員も密漁海賊行為をするなら乗り組みを遠慮するようになるのではないだろうか？

違法操業の罰金上限と担保金基準額を3千万円に引き上げた、とは言うが、さっそく**全く効果がないことが証明されている**だから、10倍の3億円程度まで上げたらどうなのか？

国内法で小笠原の自然を守ろうとしても『中国密漁海賊船』には効き目がない。

こうなりゃローラちゃんのお力に期待するしかない・・・の？

